

国際人育成へ海外研修開始

明石さんのような国際的な舞台で活躍する人材を育てようと、秋田高は2018年度から、



タイから来校した生徒たちと、きりたんぼ作りをする秋田高の生徒たち―秋田市で2017年1月、同高提供

米国のポストンやニューヨークを巡る10日間の海外短期研修を始める。

初回は7月15～24日で、主にポストン近郊にある名門・タフツ大の寮に滞在する。同大は明石さんが国連へ入る直前まで学んでいた国際関係学の専門大学院「フレッチャースクール」を擁する。

2年生28人が参加し、寮に7泊し、午前中は世界の学生たちとともに英語を学ぶ。午後はハーバード大のキャンパスや研究施設を訪問したり、現地で活動する日本人と交流したりする。終盤はニューヨークの国連本部ビルや米同時多発テロの現場となった「グラウンド・ゼロ」などを見学予定だ。

安田浩幸校長は「研修に目的を持って臨み、さまざまな刺激を受けて、帰国後は勉強や部活、行事などでリーダーシップを発揮してほしい」と期待を寄せる。

一方、15～17年度は「知の探究コンテスト」の成績上位グループをタイに派遣し、キングモックット工科大トンブリ校の生徒らと交流した。今年3月21～25日、男子生徒6人と引率教員2人を派遣した。昨年1月にはトンブリ校の生徒11人と教員2人が秋田高を訪れ、授業に参加。調理実習できりたんぼを作って食べるなどして交流した。

秋田高編は今回で終わります。次回は6月1日、福島県立安積高編を始めます。